



百人近い出席者で大盛會 新「会旗」の入場に満場の拍手

平成十七年度の鳥城会総会は昨年11月19日(土)正午すぎから東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で開かれました。総会に続く懇親会では、当番幹事の鳥取西高20期(山根かおる代表幹事・林裕史幹事主務)らが創意工夫をこらした数々の出し物が披露され、会場を大いに盛り上げました。百人に近い出席者で大盛況となり、会の主流を占めるようになった西高卒業生の若さと元気があふれた総会でした。

総合同会は幹事の一人である飯田美夜子副会長(旧姓・石亀)が務め、西高校内放送時代と変わらぬ若々しさと放送局勤務で磨き上げた美声で総会の開会が宣せられました。先ず挨拶に立った中野純会長(鳥取一中61期)が「今年

西高野球部が甲子園に出場し、全国に母校の名をとどろかせた」と述べ、健闘をたたえました。この後、林田達郎事務局長(西高5期)らから報告された活動報告、決算報告、予算案などが次々と満場一致で承認され、総会は約20分で終わりました。

突然の会旗の出現を会場は盛大な拍手で迎え、早速、ステージ中央の金屏風の上の方に掲揚されました。西高校章の下に「鳥取一中・鳥取西高同窓会」の文字が刻まれている。鳥城会の歴史と伝統の継承を物語るようになっている。

次いで林田事務局長から、「ご来賓としてお迎えした青木節也鳥取西高教頭(西高21期)、岡崎功鳥取東東京事務所長(西高21期)、竹内功鳥取市長(西高21期)、西高同窓会事務局の美田康彦先生(西高27期)、

八村会長からそれぞれ祝辞を頂戴し、しばらくは先輩、後輩が入り混じって、懇談の輪が広がり、数々の祝電も披露されました。さらに変わった出し物として、木村剛氏(西高20期)のギター独奏「歌劇・魔笛」による主題と変奏」があり、また、林田事務局長発案の西高制帽をかぶつての「若返り撮影会」がインスタント・カメラを駆使して行われました。

そして、いよいよ恒例のメインイベント「大抽選会」へと移行しました。商品は「東京デイズ」商品券、旅行券、西高甲子園出場記念グッズなどでした。また有田英昭氏(西高20期・そば店主)寄贈の豪華な清酒などもあつた多彩。出席者の三割が何らかに当選されました。懇親会は終盤を迎え、次回総会幹事を担当する西高21期(昭和45年卒業・安養寺信夫代表)の皆さんが登壇

され、紹介されました。降ろされた鳥城会旗は山根代表幹事から安養寺代表幹事へ手渡され、安養寺氏から次回に向けて力強い決意が表明されました。

最後に、西高野球部前監督だった美田先生の指揮のもと、西高校歌を全員で斉唱。一中の先輩たちも配られた歌詞を見ながら唱和され、再び会を約しながら、すべての行事の幕を閉じました。

なお、文末ではあります。鳥城会幹部の皆さん、ご出席の日のご欠席ながら総会の企画、運営、進行にご協力いただきました会員各位に、この紙面を借りて厚く感謝いたします。(文及び写真：戸崎博己、岡崎健)



懇親会は、西高校歌の流れる中、背中に当番幹事の卒業年次である昭和44年の「44」の数字を、胸に西高校章をあしらった揃いのTシャツ姿の4人が掲げ持つ新調の「鳥城会旗」の入場で始ま

りしました。旗手は当番学年の岡崎健、鳥越義夫、中島裕治、戸崎博己の各氏でした。

来賓を代表して青木節也先生が挨拶され、恒例の大学進学状況や新校舎建設など母校の近況をご紹介いただきました。中野会長、青木教頭、山根代表幹事による「鏡開き」(写真)の後、かつて一中野球で活躍された大村文夫大先輩(西高44期)の力強い発声で乾杯して懇親会も佳境に突入。藤被り(こもかぶり)の美酒は松下栄一郎氏(西高20期)・鳥取中央印刷社長)からの寄贈でした。

ここで、来賓の岡崎所長、竹内市長、

平成18年度の鳥城会総会・懇親会は11月18日(土)正午すぎからアルカディア市ヶ谷(私学会館)で開くよう準備を進めてい

ます。会場はJR総武線、都営新宿線、東京メトロ有楽町線の市ヶ谷駅から徒歩3分で便利です。あらため

てご案内を差し上げますが、皆様の日程に組み込んでおいて下さい。(当番幹事・西高21期)

鳥取市長に竹内氏再選
頑張る！われらが仲間

鳥取市長に竹内氏再選
頑張る！われらが仲間

鳥取市長に竹内氏再選
頑張る！われらが仲間

鳥取市長に竹内氏再選
頑張る！われらが仲間

鳥取市長に竹内氏再選
頑張る！われらが仲間

西高校舎、現在地で改築決まる

西高校舎、現在地で改築決まる

西高校舎、現在地で改築決まる

西高校舎、現在地で改築決まる

総会・懇親会のスナップ写真



鍛えた美声で総会司会の飯田副会長



冒頭に挨拶する中野会長



「鳥城会旗」のもとで報告する林田事務局長



木村剛氏の見事なギター独奏



幹事団のお揃いTシャツ姿



来賓と鳥城会役員の皆さんたち(右から青木西高教頭、岡崎県東京事務所長、篠田伸夫、中川浩明両副会長)



大村大先輩の豊饒たる乾杯の発声



祝辞を述べる竹内鳥取市長



次回総会担当幹事へ鳥城会旗の引き渡し



歌詞の紙をたよりに西高校歌を高唱する



挨拶に聞き入ったり、記念写真を撮ったり、会場で拾った顔、顔、顔のなんと素晴らしいこと！

お断り
報告、会員消息を中心に編集しましたので、決算報告など決まりもの記事を割愛しました。



平成一七年度総会出席者(敬称略)

◎来賓 青木節也鳥取西高教頭(西高21期)、美田康彦教諭(西高27期)、竹内功鳥取市長(西高21期)、八村義郎東雲会長、岡崎功東京鳥取県事務所長

◎会員 (鳥取一中)▽44期・大村文夫▽61期・中野純、仲山淳一、村野兼雄、横山豊、米村恒義▽62期▽西高1期・西村和義、橋本邦雄、原桃介

(鳥取西高)▽4期・倉光定巳▽5期・田中文雄、中田和夫、林田達郎、三浦三郎▽6期・尾崎明、寛邦男▽11期・神谷昭光▽13期・篠田伸夫▽14期・竹内紘、柳田皓一▽15期・中川浩明、西村清二▽17期・清水博、森中章雄▽19期・大西雅夫、西口芳恵、能勢敏郎、松尾秀雄、山本恵美子▽20期・有田令子、飯田美夜子、石谷達夫、石田義則、板垣勝美、榎本えり子、江村寛、大下陽一、岡崎健、沖洲育子、北島寿美子、木村剛、木村史江、小谷久仁子、阪下哲寛、渋谷三郎、島津順子、鈴木恵子、田川研一、竹中論、田野瀬久志、塚本悦子、戸崎博己、鳥越義夫、中島裕治、中島みち子、中村輝実、西尾啓一、林裕史、前田健、前田さちえ、増田好江、松下栄一郎、園井泉、村岡由水子、目黒晴美、守本澄子、森慶子、森本隆、矢木一雄、山根かおる、山本陽司、吉野秀世、米田純▽21期・浅沼恵子、阿部由紀、新井裕子、安養寺信夫、石井英志、石田順子、井上孝子、上岡雪子、上山紀夫、宇山卓、岩村文江、小川恵三、北村哲、岡岡万生哉、近藤修、花光千恵子、宮脇泉▽22期・下田一弘、福山登志彦、村田佳枝

欠席された方々の近況など

総会を欠席された方々のうち、連絡ハガキの通信欄に近況などが書き込んであるものを選びました。なお、昨年10月時点の便りであることをご承知おき下さい。(敬称略)

(鳥取一中)

石黒長治(40期) 昨年3月妻を亡くし、現在、天涯孤獨の独り暮らしです。
 田中順太郎(45期) 近頃、ちよつと体調がすぐれませんが、失礼させて頂きます。
 湯村哲男(45期) 寄る年波、入退院の繰り返しです。
 石谷類造(46期) 年令相応の健康状態で居ります。満89歳になりました。足が弱くなりましたので遠路の旅行は出来ません。欠席をお許し下さい。
 川本浩光(46期) 足腰の衰えはともかく、車の運転や趣味の民謡とカラオケを楽しんで居ります。
 安田辰雄(46期) 今年3月、米寿を迎えました。自宅で病後のリハビリ中のため、出席できません。
 武田芳三(47期) 昭和10年の一中卒業で、

87歳ですが、元気でおります。
 武田武(48期) 息子夫婦と孫に囲まれ、元気に過ごしております。
 山川國雄(49期) 一寸体調をこわしました、日常生活は普通ですが、遠距離外出は控えています。
 水本民雄(50期) 85歳を超えました。三、四年前から腰痛と持病の肺気腫に悩まされております。
 高嶋義弘(51期) 足が悪くて通院中ですので、欠席します。
 松本久直(51期) 手術のため、60日入院、目下自宅で体力回復に努めています。二度の手術と加齢のため、往年の体力回復は望むべくもありません。
 山本茂(52期) 難聴のため日常生活に不便を感じておりますが、何とか元気に暮らしております。
 吉岡泰三郎(52期) 病後治療中です。
 青柳寿久(53期) お世話になります。若手に負けない様に頑張っております。
 川口正義(53期) 比較的的健康に恵まれて、毎週末には下手なゴルフプレーを楽しんでいます。
 安木胆二(53期) おかげさまで毎日元気

に楽しく過ごさせて頂いております。当日はグループ研修会のお世話をさせて頂きますので、出席できません。欠席させていただきます。
 安養寺富夫(54期) 体調不良のため、欠席させていただきます。
 岡野登(54期) 体調悪く、歩行困難のため、欠席します。
 中本誠一郎(54期) 今春の胃癌のための開腹手術も快方に向かっています。今しばらく療養が必要のため、欠席します。
 山根眞樹生(54期) 体調不良のため欠席します。
 猪口高明(55期) 視力が極度に衰えましたが、気力脚力はまずまずです。ご盛會をお祈り致します。
 阪田義明(55期) 元気でやっております。盛會を祈念しております。
 谷尾侃(55期) 残念ですが、三病を抱えており、特に肺気腫でアルコールを受け付けなくなり、人生半分となりました。昔が懐かしいです。
 浜田兵衛(55期) 体調があまりすぐれませんが、悪しからず。
 安木茂(55期) 足先はまだ血液が行かない下肢閉塞性動脈硬化症のため歩行困難で欠席します。
 伊藤滋(56期) 病氣加療中のため、欠席です。
 佐合奨(56期) 傘寿を迎え、二病息災、おかげさまで年齢相応の体調で暮らしております。
 鈴木昭(56期) 昨年(平成16年)までは入退院を繰り返していましたが、今年は何とか達者に暮らしております。あと一年半で80歳になります。全国の平均寿命を超えたいと思っております。
 藤原謙二(56期) まあまあ何んとなく無事に過ごしております。傘寿まで生きられてびっくりしています。
 山根通裕(56期) 仕事量を少々減らしましたが、まだ現役で働いております。
 倉田一明(57期) なかなかお会いできなかった方々の近況などの企画に感謝しております。糖尿病と仲良く、元気で過ごしております。
 谷口由之(57期) 二度目の心臓バイパス

手術により脳梗塞となり、左半身麻痺のため一人では歩行困難となりました。中野啓二郎(57期) 総会当日は在京していませんので、よろしくお願いたします。由井俊夫(57期) 小生何とか元気で(中ぐらい)やっております。
 安養寺護(58期) 何とか喜寿を迎えボチボチやっておりますが、当日は四つの会が重なり、結局、定期検診に行くことに決めました。
 荒尾修(58期) 旅行、ゴルフ、色々な会合と忙しく過ごして居ります。
 川口義男(58期) 人生、残り四分の一世紀を元気で過ごすべく、スポーツジムにて、気功・ヨガ・パワーヨガ・筋トレ等に取組んでいます。
 倉信隆弘(58期) 10月1日付で事務所を東京から千葉の自宅に移転しました。自宅に居る日が多くなりながらやっております。体調に気がつけながらやっております。
 田中達三(58期) 元気で喜寿を迎えました。
 中野英三郎(58期) お蔭様で、相変わらず馬齢を重ねつつ元気に暮らしております。
 米井司(58期) 58期も喜寿を迎えました。谷尾孝史(59期) 体調不良、療養中です。稲富道治(60期) お陰さまで健康に恵まれ、現役生活を続けております。適度に忙しく。
 関口孝雄(60期) 一中59・60期同期会を京都でやりますので、11月16日から京都に出張中です。
 花原茂(60期) 出席できなくてすみません。盛會をお祈りいたします。
 三木龍夫(60期) 相変わらずの野球好きで、今夏は久しぶりの母校甲子園にいささか興奮しました。体調の方は年齢相応にいろいろと...。
 小田義幸(61期) 家内療養中のため、欠席致します。
 田辺正義(61期) 最後の青春に花を咲かせるべく日々努めています。
 花本充夫(61期) 当日先約があり、残念ながら欠席とさせていただきます。
 浜口邦之(61期) 呼吸器疾患のため欠席いたします。

浜田浩一(61期)鳥城会のお世話、お疲れさまです。残念ですが体調不良のため欠席させていただきます。
 松田信徳(61期)「ご案内有難うございました。11月は鳥取に行っており出席出来ませんが、来年は出席できると思っています。」
 松村茂夫(61期)引き続き体調不良のため欠席とさせていただきます。
 山本輝通(61期)まだ現役(開業医)で働いています。

山本雄二郎(61期)同期の仲間と「鳥取ふれあいウォーク」に参加。週一の大講義、月刊誌時評のインタビュ取材は継続しています。
 赤羽新一(62期)西高1期)元気でですが、都合がつかせません。現役を退いて、名誉校長となりました。
 上原敏秀(63期)西高2期)市のパソコン講習会と重複のため、欠席します。
 谷口匡幸(63期)西高2期)体調悪いので出席できません。

鳥越悟朗(63期)西高2期)「わが余生金と時間は気にしない」の気持ちで毎日過ごしています。
 平澤尚實(63期)西高2期)病氣療養中のため、よろしく願っています。
 三島秀樹(63期)西高2期)昨年の総会の大抽選会で会長賞をいただきました。今年も出席のつもりでしたが、当日、同志社大学関係の東京シンポで「小繁事件」の歴史などについて語るため招かれていたため、残念ながら欠席です。

山根稔(63期)西高2期)体調悪く欠席します。
 山橋端夫(63期)西高2期)同じ日に大学同期会が京都で開催されますので、欠席します。
 寛隆(64期)西高3期)当方元気で、当日残念ながら先約あり、欠席です。
 牧野和春(64期)西高3期)「凡夫の民藝論」(惜水社刊)を上梓致しました。
 (11月)全国主要書店にて発売中。

(鳥取西高) 西田俊夫(4期)来年度から二年間、渡瀬氏と共に西高4期「風紋会」の幹事を引き受けることになりました。

渡瀬靖夫(4期)林田さんご無沙汰しております。ゴルフはやっていますか。私ほできません。色々と会合が重なり、先約優先で欠席します。

岡田榮(5期)元気でなんとか過ごしています。横浜市は70歳から地下鉄、全てのバスが無料になりました。これからあちこち散歩するようにします。
 香月巖(5期)「健やかに安らかに」を旨に元気で消日致しております。

岸田勝實(5期)今年度株主総会(6月30日)で社長職を退任しました。
 田中勉(5期)元気で暮らしております(管理人)。法事で帰鳥致しますので欠席します。
 毛利彰(5期)足の病気で欠席します。
 宮本聡(6期)退職後は家庭果菜園、山野草、森林ボランティアと趣味三昧です。
 吉村知子(6期)当日親戚の結婚式のため、残念ながら出席できません。
 木下和明(7期)夏の甲子園出場には大感激、うれしくて涙が止まりません。自慢がなによりです。

森本洋(7期)日程が合わず欠席します。
 伊黒比佐江(9期)ますます出不精になってきますが、元気でおります。
 岸田道則(9期)みなとみらい線横浜高速鉄道に元気で勤めております。
 篠田英男(9期)残念ですが、学生の学外研修を引率することになっております。女子短大生相手にハリキッテまいります。

伊達邦男(9期)元気に活動しています。
 福田典高(9期)ふるさとへUターン3年目です。片田舎に居ながらも、次々と行事で忙しい毎日です。活性化に頑張っています。
 守屋正教(9期)健康に過ごし、現役で頑張っております。
 川上壽一(10期)6月末から、大手の日本酒類販売に移り、常勤監査役として、元気にやっております。

吉村文成(10期)龍谷大学化学学部で文化人類学などを教えております。当日、授業の都合で出られません。

糸尾一郎(11期)コーラス三昧、ゴルフ三昧の日々です。
 尾関壽幸(11期)新規事業立ち上げに参画のため、残念ながら欠席。
 寺谷敏光(11期)私用のため、大阪方面へ出掛ける予定にしています。
 松下充孝(11期)晴耕雨読の日々となりましたので、好きなことを楽しんでいきます。

山田歌子(11期)体調がすぐれませんが、お休みさせていただきます。
 中谷俊博(12期)お陰様で毎日元気で過ごしています。本日に残念ですが、今回は仕事の都合で欠席します。
 浦浜求(13期)定年後の人生を大いに楽しんでおります。
 鈴木淑子(15期)当日、すでに予定を入れてしまっていますので、申し訳ありません。

田村玲子(15期)多用で出席ができません。60歳の節目を迎えました。
 徳田彰士(15期)現在も成田空港で働いて居ります。
 藤原和代(15期)主人が退院したばかりでリハビリ中です。
 三角幸子(15期)いたって元気に過ごしております。今回は、孫の七五三と重なったため、欠席させていただきます。
 木代泰之(16期)この週末は父親介護のため、鳥取市に行っています。
 小林陽子(16期)欠席が多くて申し訳ありません。ゴルフをはじめ、はまっています。

小宮紀子(16期)野球部の活躍で久しぶりの健闘を今後も祈っています。
 外山みゆき(16期)娘の夫のインド赴任のため、娘と双子の乳児としばらく同居することになり、にぎやかな生活を楽しんでおります。
 森本拓司(16期)お客様と1泊でゴルフと温泉の小旅行の予定が入っています。
 砂原和雄(17期)都合が悪く出席できません。
 岸田明子(18期)帰省中につき欠席してまいります。親の介護でバタバタする日々を送っています。

戸谷明(18期)当日、別にはずせない用事が入っているため申し訳ありません。森田祐理(18期)海外出張が多くなり、特に秋口はちと大変。娘は海外で勉学中というところで、また。娘は海外で勉学、安木さづ子(18期)当日都合がつかず、欠席させていただきます。
 山田雅行(18期)今回は他用があり、欠席させていただきます。
 吉田政雄(18期)6月末から営業と経営企画が担当となりました。そのため、鳥城会の総会日が、電線工業会の例会ゴルフと重なり、申し訳ありません。
 上杉秀二(19期)土曜日は仕事にて、次回は日曜日でお願いたします。
 小島憲道(19期)総会当日、大学のホームカミングデーのため、名誉教授のお相手をしなければなりませんので、欠席させていただきます。
 瀬戸都子(19期)自宅療養中のため、失礼いたします。
 西本泰章(19期)二人の子供が小さく、子育てで精一杯です。あと5年くらいしたら出席いたします。
 本山由美子(19期)自営業のため、なかなか出席することができません。皆様にかつお逢い出来るのを楽しみに頑張っています。
 米田道夫(19期)同期と顔を合わすと、「健康」と「年金」の話になってしまいう年令になってしまいました。故郷の便りが元気の元です。
 永美和憲(23期)申し訳なし。会社のコンペと重なってしまいました。

佐々木定道顧問、ご逝去

鳥城会顧問の佐々木定道さん(一中41期)・元富士重工業会長が去る3月26日、肺炎のため死亡されました。享年94歳でした。
 佐々木さんは昭和49年11月の鳥城会創立時から副会長などの幹部として貢献され、その後、顧問を務めておられました。この間、東京鳥取県人会会長としても活躍されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。